

2015 年 花王・みんなの森づくり活動助成目録贈呈式 プレゼンテーション

いのちの森づくり友の会・事務局
(株)研 進(障害者就業支援団体)
出縄貴史

- ・日時: 2015年5月22日(金) 14:00~17:30
- ・場所: 花王(株) 茅場町D棟12階ホールA・B
- ・主催: 花王(株) (公財)都市緑化機構

進和学園・いのちの森づくり友の会による「どんぐりブラザーズ」の取り組みについて紹介させていただきます。

進和学園は、神奈川県平塚市にある福祉施設で、主に知的障害のある方々の自立・就労支援を担っています。現在、約500名の障害者の方々にご利用頂いており、ホンダさんの自動車部品の組立や製パン・クッキー、農産物加工等、様々な作業に従事しています。



「いのちの森づくり」プロジェクトは、2006年にスタートし9年目を迎えています。

「どんぐり」や木の実を集めて苗木を育て、「森づくり」を行うことによって、豊かな情操を育み、「働き甲斐」や「生き甲斐」にも繋がっています。



進和学園「いのちの森づくり友の会」

私達の活動の趣旨にご賛同頂ける方を募集
森づくり基金を創設・運営

⇒ 個人会員:1口年 1,000円より
団体会員:1口年10,000円より

⇒ ①公共の「森づくり」に苗木を寄贈
②障害者の工賃に還元



進和学園「いのちの森づくり友の会」は、個人・企業・団体の皆様から成る任意団体です。私達の活動の趣旨にご賛同頂ける方を募り、森づくり基金を積み立てています。

基金の活用目的は、第一に、公共スペースへ苗木を寄贈し植樹活動を進めること。第二に、苗木栽培や森づくりに励む障害者の皆さんの工賃に還元することです。

「どんぐりブラザーズ」とは、福祉施設で働く障害者、特に、知的・精神障害のある方々による「森づくり」チームを言います。

苗木を栽培し、色々な場所で植樹を行っています。更に、植樹地の「草むしり」等の作業にも従事しています。

現在、5つの福祉施設が苗木の栽培に取り組んでいます。

植樹後、2～3年は、小さな苗木は雑草に負けてしまうため除草作業、即ち「草むしり」が必要です。これを育樹と呼んでいます。育樹に参加する「どんぐりブラザーズ」は10施設を超えています。苗木がある程度育てば、自然淘汰に委ねメンテナンスフリーとなります。自然の森は、地中深く根を張るため、台風・地震・津波等にも強く、防災面でも大きな効果があり、管理費も最小に抑えることが出来ます。

自然の森は、色々な種類が混ざり合っている。
好きな者だけを集めても駄目。
人間社会も同じ。
混ぜる、混ぜる、混ぜる！



いのちの森づくり
その土地本来の木に
よる本物の森づくり

横浜国立大学
名誉教授
宮脇 昭 先生

「自然の森は、色々な種類が混ざり合っている。好きなものだけを集めても駄目。人間社会も同じ。混ぜる、混ぜる、混ぜる！」とは、宮脇先生のメッセージですが、個性や人格を尊重し多様性を認めることを基本とすべき障害者福祉の理念にも通ずるものです。

「いのちの森づくり」のイメージ図です。

「森づくり」を通じて障害者の自立を支援する「福祉」、地球温暖化という人類共通の「環境」問題への対応、また、「森づくり」を「人づくり」に繋げて行く「教育」、更に、「企業」のCSR活動との連携も深め、付加価値の高い取り組みを目指しています。

「森づくり」を通じて障害者の自立を支援する「福祉」、地球温暖化という人類共通の「環境」問題への対応、また、「森づくり」を「人づくり」に繋げて行く「教育」、更に、「企業」のCSR活動との連携も深め、付加価値の高い取り組みを目指しています。

どんぐりブラザーズ 福祉施設間連携による森づくりチーム

進和学園
湘南の風
県央福祉会
ハソボラサークル
よこすか黎明会



どんぐりブラザーズ 育樹(除草)も大切な仕事！

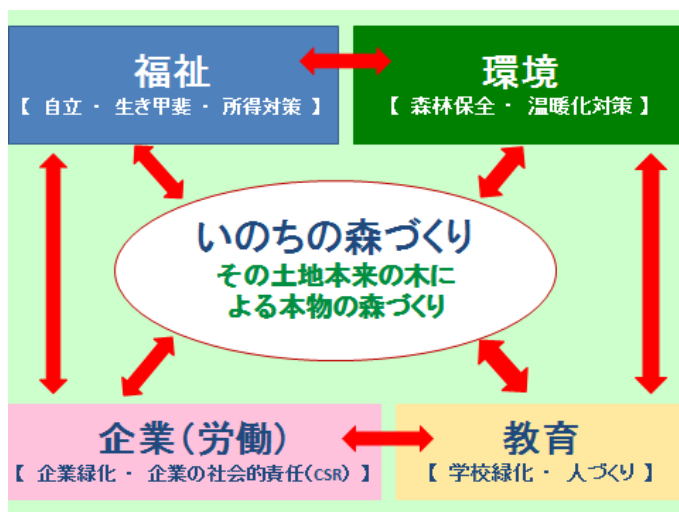
進和学園
湘南の風
ハソボラサークル
コスモス学園
よこすか黎明会
小田原支援センター



県央福祉会
掛川芙蓉会
草笛の会
ラバン



「いのちの森づくり」は、「その土地本来の木による本物の森づくり」です。植物生態学の世界的権威である横浜国大名誉教授の宮脇昭先生が提唱される潜在自然植生理論に基づくものです。





これは、私達の福祉工場「しんわルネッサンス」の植樹を行った際の写真です。樹高30cmに達した苗を、その土地に合った樹種を選定して密植・混植します。

植樹後2年目。既に可愛い森の風情です。

「しんわルネッサンス」南側斜面・植樹後2年目



「しんわルネッサンス」南側斜面・植樹後9年目



そして、9年後、こうなりました。30cm程の小さな苗が、10mにも育ち、私達を包み込んでくれています。

進和学園の栽培拠点は、平塚市にあるこの「どんぐりハウス」です。
農業を止めて使用していない近隣のハウスをお借りして栽培を行っています。



「どんぐりブラザーズ」の仕事です。秋の「どんぐり」拾いから始まり、春から夏は「ポット苗作り」で大忙しとなります。栽培のポイントは、やはり「水やり」です。木は「根」で勝負すると言われるように「水やり」のタイミングや量が生長を左右します。

現在、進和学園をはじめ「どんぐりブラザーズ」の5施設合わせ、約80種類、10万本の苗木を栽培しています。



苗は2～3年育てて植樹！おかげさまで9年目
苗木の出荷本数16万本突破！（2015年3月末現在）

2009年度出荷実績：	11,986本	165,039本 内、「友の会」基金活用 52,950本
2010年度	24,243本	
2011年度	28,064本	
2012年度	39,650本	
2013年度	38,607本	
2014年度	22,489本	

約80種類・10万本の苗木を栽培



2009年より苗木を出荷し、累計16万本を超えました。

但、苗木販売の売上げだけでは不安定であり、メンバーへの工賃支給に窮する場合があります。

ます。そこで、「友の会」基金を活用して、公共スペースにおける植樹地を確保し、苗木の寄贈による植樹活動にも取り組んでいます。出荷実績の内、約53,000本、即ち、3分の1以上が「友の会」へのご寄附や企業・団体様からの助成により実現しています。

基金を活用して、この6年間に169件の植樹や育樹を実施しました。県や市から植樹を必要とする道路や公園を紹介頂き、公共スペースの緑化を進めています。また、「教育」との連携である「学校の森づくり」には特に注力しています。これらの取り組みは、財政難を背景に、行政からも高く評価されています。私達にとっても、「植樹場所の確保」という課題への対応策として、また、苗木代金や労賃を基金より充当して、障害者の自立・就労支援を図る上でも有効な方法と考えています。

「いのちの森づくり基金」を活用した植樹活動



- 公共スペースの森づくり
(県・市町村との連携)
国道134号線高浜台沿道
神奈川県防災備蓄倉庫外構
湘南ひらつかパークゴルフ場
秦野市千年の杜づくり
東京都豊島区グリーンとしま再生P.
東京都世田谷区二子玉川公園
兵庫県小野市鍛冶神社
- 学校の森づくり
川崎市立西生田小学校
横浜市立新羽中学校
神奈川県立秦野首屋高校
神奈川県立伊勢原高校
獨協中学・高等学校
福井県鯖江市立鯖江東小学校
多摩美術大学八王子キャンパス

立派な巨木も一粒のどんぐりから！

私達の活動も芽を伸ばし少しでも前進できるよう、今後とも力を合わせて努力して参ります。

皆様も、是非、「いのちの森づくり」の輪に加わって頂けたら幸いです。

どうも有難うございました。

以上

立派な巨木も一粒のどんぐりから！



進和学園・いのちの森づくり友の会